

## かわらばん

## 秋も深まりを見せ始めました



県では、平成28年度から、農山漁村地域の魅力や課題の掘り起こしや、地域の将来像実現に向けた活動を企画する話し合いを行うとともに、企画した活動を円滑に行えるようサポートをすることで、地域の体制づくりを支援しています。

今年度は、6つの地区で当事業を活用しています。

今回は、10月15日、18日、19日に行われた丸森町大内青葉地区の「えごま収穫ボランティア」と、10月24日に行われた村田町沼田地区の「生き物調査」の様子を紹介します。

## 香ばしい良い香り

丸森町大内青葉地区では、「えごまの収穫ボランティア」活動が実施されました。刈り取られたえごまを束ねてはせ掛けをする作業をお手伝いしました。刈り取られたえごまからは香ばしい良い香りが漂い、癒やしの時間になりました。3日間で、合計10人のボランティアを受入れました。初めは苦戦していた作業も、慣れてくるとどんどん手際が良くなり、スピードが上がってことに面白みを感じているようでした。

収穫したえごまから作られるえごま油は、10月下旬頃から大内地区内の直売所などで販売される予定です。どのような商品になるのか楽しみです。

## 生き物たくさん

村田町沼田地区では、沼田七福神舞保存会主催の「第1回生き物調査」が実施されました。地区内に住む子ども9人が参加しました。網と虫かごを持って元気に搜索開始！水路の中に棲むカエルやドジョウ、ヨシノボリなどを捕獲することができました。秋が深まる中でも、多くの生き物を観察することができたことに地元の方も驚いていました。子ども達は図鑑を片手に生き物の名前を調べながら、捕まえた場所を地図に記していきました。

生き物調査終了後は、地区の伝統文化の1つである「沼田七福神舞」を鑑賞しました。地区の魅力を再認識する良い機会となりました。



初めて見る生き物に興味津々。明るく元気な子ども達から、パワーをわけてもらえました。

小さなえごまの実も、6kgで2L程度の油（オイル）になるとのこと。丁寧に収穫していきました。